

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月11日(2022.10.11)

【公開番号】特開2022-44682(P2022-44682A)

【公開日】令和4年3月17日(2022.3.17)

【年通号数】公開公報(特許)2022-048

【出願番号】特願2022-6122(P2022-6122)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月30日(2022.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に向けて遊技球を発射して遊技を行い、前記遊技領域に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて実行される識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果になると、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、

前記遊技領域のうち何れの領域に向けて遊技球を発射するかを指示する指示報知を実行可能な指示報知実行手段と、を備え、

前記遊技状態には、前記遊技領域のうち左側の領域を遊技球が流下するように遊技球を発射して遊技を行う左打ち遊技状態と、前記遊技領域のうち右側の領域を遊技球が流下するように遊技球を発射して遊技を行う右打ち遊技状態と、があり、

前記右打ち遊技状態は、前記特別遊技が実行される特別遊技状態と、始動口への遊技球の入球頻度が前記左打ち遊技状態よりも高い高頻度状態と、を含み、

前記右側の領域に向けて遊技球を発射することを指示する指示報知として第1指示報知と第2指示報知を有し、

前記指示報知実行手段は、

前記左打ち遊技状態にて識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となって遊技状態が前記特別遊技状態に移行するときに前記第1指示報知を実行し、

前記高頻度状態中に前記第2指示報知を実行し、

前記高頻度状態中の所定時期に、前記第2指示報知の態様を変更可能であり、

前記高頻度状態中の前記所定時期に前記第2指示報知の態様を変更した後、該変更後の前記第2指示報知の態様を更に変更可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

40

50

すなわち、本発明の遊技機は、

遊技領域に向けて遊技球を発射して遊技を行い、前記遊技領域に設けられた始動口への遊技球の入球に基づいて実行される識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果になると、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、

前記遊技領域のうち何れの領域に向けて遊技球を発射するかを指示する指示報知を実行可能な指示報知実行手段と、を備え、

前記遊技状態には、前記遊技領域のうち左側の領域を遊技球が流下するように遊技球を発射して遊技を行う左打ち遊技状態と、前記遊技領域のうち右側の領域を遊技球が流下するように遊技球を発射して遊技を行う右打ち遊技状態と、があり、

10

前記右打ち遊技状態は、前記特別遊技が実行される特別遊技状態と、始動口への遊技球の入球頻度が前記左打ち遊技状態よりも高い高頻度状態と、を含み、

前記右側の領域に向けて遊技球を発射することを指示する指示報知として第1指示報知と第2指示報知を有し、

前記指示報知実行手段は、

前記左打ち遊技状態にて識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となって遊技状態が前記特別遊技状態に移行するときに前記第1指示報知を実行し、

前記高頻度状態中に前記第2指示報知を実行し、

前記高頻度状態中の所定時期に、前記第2指示報知の態様を変更可能であり、

前記高頻度状態中の前記所定時期に前記第2指示報知の態様を変更した後、該変更後の前記第2指示報知の態様を更に変更可能である

20

ことを要旨とする。

20

30

40

50